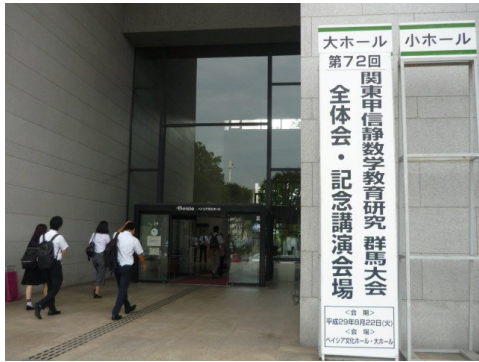


第72回関東甲信静数学教育研究 群馬大会参加報告

沼南高等学校 加藤 純一

8月22日(火),前橋市の群馬県民会館『ベ
イシア文化ホール』をメイン会場とし、「第
72回関東甲信静数学教育研究群馬大会」が
開催されました。

今回は「ともに学ぶ算数・数学教育の創造」
が大会の主題でした。



メイン会場のベイシア文化ホール

午前にはベイシア文化ホールを会場として
全体会と記念講演が行われ、午後からは小学
校部会分科会が前橋市立城東小学校, 中学校
部会分科会が前橋市立みずき中学校, 高等学
校部会分科会が群馬県立勢多農林高等学校を
会場として, それぞれ行われました。

1 全体会

まずは, 群馬大会実行委員長の江森英世先
生(群馬大学)よりご挨拶がありました。

また, 群馬県教育委員長の笠原寛様, 日本
数学教育学会会長の藤井齊亮様よりご祝辞を
いただきました。

最後に, 次回開催地代表として第100回全
国算数・数学教育研究(東京)大会準備委員
長の池田文男様よりご挨拶がありました。次
回は「第100回全国算数・数学教育研究(東
京)大会」と「第73回関東甲信静数学教育研
究東京大会」が平成30年8月3日(金)か
ら8月5日(日)に東京都を会場として開催

されます。大会主題は「100年の伝統を踏ま
えた未来の算数・数学教育の展望」です。記
念講演には東京理科大学学長の藤嶋昭先生,
全体講演には東京理科大学の秋山仁先生が講
演される予定です。

2 記念講演

演題:「幸せの条件」

講師:大谷 徹柴 様(奈良薬師寺副執事長)

芝学園高等学校在学中に薬師寺住職に師事
し, 僧侶となり1999年から全国各地で「心
を耕そう」をスローガンに法話行脚をされて
います。

幸せになる方法について, 仏教の言葉を分
かりやすく解説しながらお話していただきま
した。「人間は目の前につらい, 苦しい, 悲
しい, 思い通りにならないと文句しか言わな
い。人間はひとりにひとつずつ心を持っている。
その心の使い方によって, 私たちは目の
前の世界を幸せにも不幸にも変えることでき
る。また, 人間関係は心に波を立てる力強い
ものである。人間関係は悩みの種になる場合
もある。歩いてきた人生によって, 全員その
物差しについている目盛りの幅(価値観)が
違うからこそ, そこを否定するのではなく,
そこを認めつつ, 人との出会いを感謝しなけ
ればならない。人の出会いをよっぽどの縁と
呼び, 大切にしなければならぬ。」など, 私
たちがどのように生きていけば幸せになれる
かという心の授業をしていただきました。私
たちが幸せになるだけでなく, 今回お話しし
た内容を教育の現場に還元してほしいとのお
話でした。

3 高等学校部会分科会

群馬県立勢多農林高等学校を会場として,
9つの分科会に分かれ, 各分科会ではそれぞ
れ4名の研究発表が行われました。

なお, 千葉県からは発表が2名, 指導助言
者1名, 司会者2名が分科会の運営に協力し
ました。内容は次のとおりです。



群馬県立勢多農林高等学校

3.1 発表Ⅰ

発表者：阿曾雅泰（成東高等学校）

分科会：学習指導法③ 分科会

テーマ：新入生計算力テストの結果と考察

千葉県高等学校教育研究会数学部会研究委員会で15年間に渡って実施している「計算力テスト」の集計結果と、その考察、実施校の先生方からの意見・感想などを報告。

3.2 発表Ⅱ

発表者：齋野大（県立東葛飾中学校）

分科会：学習指導法⑤ 分科会

テーマ：生徒の「学び方」を変えるための指導と評価の工夫改善

教えて考えさせる授業を目指し、毎時間の授業の最後に、授業でわかったこと・大事だと思ったこと・まだよく分からないことを記述させ、メタ認知を促す。また、考査において、公式・定理の導き方や数学的概念の考え方が理解できているかを問う問題を出題した。その授業実践を報告。

3.3 その他の県の発表

- ヘロン数の三角形の課題学習への挑戦
- データの散らばり方と相関係数の関係を印象付ける教材作り
- スマートフォンを活用した授業実践
～算数・数学計算サイト MathCal を用いて～
- 数学の活用事例の教材化に向けた考察
～工学の視点を取り入れた教材化事例～
- 和算を活用したアクティブな探求の検討

- <アクティブラーニングの実践研究>～生徒が主体的に活動する授業のために～
 - 数学の授業のマインドマップ利用法
～マインドマップを利用した授業～
 - 分かりにくいところ、教えにくいところに潜む数学的概念
 - 数学史雑和
—3人の数学者 森本清吾先生・角谷静夫先生・オリバー・ヘヴィサイド—
 - 日常的なアクティブ・ラーニング型授業の取り組み
 - Riemann の級数定理に関する一考察
 - 事象を数学的に表現・処理する能力を高める高校数学科指導の工夫
—学習形態と学習課題の与え方に工夫した授業を通して—
- など

3.4 指導助言、司会

「数学Ⅱ・数学活用分科会」で岩崎章校長（大網高等学校）が指導助言者を、「数学Ⅰ、工業・商業・農業・理数科・その他分科会」で加藤純一（沼南高等学校）、「学習指導法④」で荒武亜美教諭（犢橋高等学校）が司会を、それぞれ務めました。

4 都県代表者会議

前橋商工会議所にて、都県代表者会議が行われ、千葉県高等学校教育研究会数学部会からは、部会長の岩崎章校長（大網高等学校）、事務局長の加藤純一（沼南高等学校）、編集委員長の田口亜紀子教諭（薬園台高等学校）の3名が出席いたしました。

大会の総括、今後の大会開催県の確認などが取り上げられました。なお、千葉県は平成31年が大会開催県となります。ご協力お願い申し上げます。